

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズの森金町		
○保護者評価実施期間	2006年 1月 9日		2006年 1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2006年 1月 9日		2006年 1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2006年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会性・ルールなどを楽しいをモチベーションに直接経験できる環境の設定	課外活動を積極的にすることで、児童の心身(体力)の向上、運動能力の向上、社会性・ルールの獲得、公共の場での配慮を「楽しい」のモチベーションから直接体験により獲得できる環境の設定	課外活動(室内活動の同様)におけるリスクはつきものであるが、リスクを回避するのではなく、リスクヘッジをガイドラインに従いスタッフ一同周知徹底し、研修などで意見交換しながら児童一人一人の特性も考慮し、安全且つ楽しく児童が直接経験できるよう支援をする
2	日々、楽しく安心を感じることで自身の居場所の設定。日々の活動にねらいを持ち行っている。	学校でもなく、ご自宅でもなく自身が安心して過ごせる居場所の提供。余暇時間は自分の好きなことに集中できるよう支援し、その遊びを通して他者との関係・社会性を獲得できるよう配慮し、支援している。日々の活動も粗大運動、微細運動、認知・ルールの獲得、感覚統合などねらいをもち、生活に落とし込み工夫をして行っている。活動も強制をせず、自身ができるようになるまで「待つ」ことを心がけている。	自身の興味・好きなことを集中してできるよう支援しているが、さらなる深堀や興味の拡大を促すような支援を心がける。
3	保護者と成長を喜びあい、困りごとなどは情報共有をすることで、保護者と一緒に考え、相談しあえるラポールの構築	日々のサービス提供記録に様子をお伝えすることはもちろん、送迎時、添乗より写真を見せるなど児童の様子を見ていただいている。困りごとなどは、あった事実を対面・電話などで保護者に提供することで学校・ご家庭・ディとその子を取り巻く環境で情報共有をし、一緒に考える・相談しあえる関係を構築する。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流ができる、情報交換ができる場所・時間の設定がない	保護者の就労・ご家庭事情などにより、時間設定が難しい。尚、交流を希望しない保護者もいるため交流の場の設定への躊躇。	保護者に無理のない形で希望する方、しない方双方に寄り添える交流の場の設定を検討する
2	非常時の対応において、保護者に対して避難訓練や各種マニュアルの周知が十分でない。非常時の対策の強化していく。	避難訓練、感染症対応マニュアルに沿って、今一度訓練(研修)を徹底するとともに、マニュアルの存在・それに従い訓練(研修)していることを周知する工夫をする。	新規入所時・モニタリング時などにあらためて非常時対応について丁寧に説明するとともにマニュアルの存在も周知していく。SNS等を活用し、情報発信を頻度を高めて行う。
3	放課後児童クラブや児童館、地域の子供たちとの交流の場を設定できていない。	地域の児童クラブや児童館との接点がなく、接点を作ることが難しい。	当施設の周り(地域)の情報を察知し、交流できる場などに参加し、積極的に地域との関わりを作っていき、当該施設のことを、子供たちのことをもっと知ってもらい、理解してもらおう機会にする